

歳出

（町の支出）

質疑



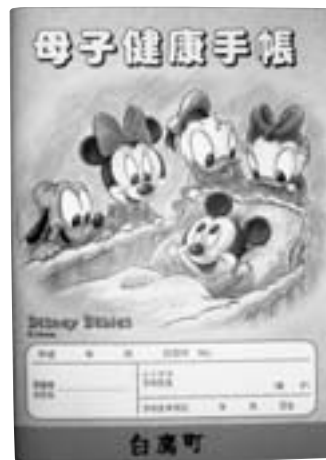
そば畑（中山地区）

衛生費

マタニティライフ応援事業は

議員 ニコニコマタニティライフ応援事業の内容と経緯を伺います。
当局 この事業は当町に産科が無いことから妊婦の方が通院に要する費用負担を軽減する目的で行うもので、妊婦の方に3万円を支給します。
 まちづくり座談会などでは産婦人科や小児科の設置要望が多かったなかで、少

しても応援可能なこととして行うものです。



元気な赤ちゃん誕生を願って

労働費

職業訓練校は存続か

議員 長井高等職業訓練校は廃止との話もあり、今の状況と今後の見通しについて伺います。
当局 学校の利用企業は、21年度の57社から22年度は現在まで13社と減少傾向にあります。
 社会情勢や雇用状況から、学校の訓練職種などの見直しも必要と思っておりますが、続けていくべきと考えています。

農林水産業費

耕作放棄地の解消は

議員 耕作放棄地基盤整備事業の経過と予定を伺います。
当局 この事業が始まった20年度は5ha、21年度は3haの解消を行っており、22年度は箕和田と深山地区の3haを予定しています。今までは主にソバを作付してきましたが、今後は雑穀作付けも含めていくなかで加工から販売までの連携をすすめていきます。

議員 国の減反政策による転作から米に対する戸別所得補償制度に変わる現状と町の考えの方向性を伺います。
当局 今までは転作関係の補助金として1億4200万円ほどが入ってきていましたが、22年度の試算では6360万円ほどになり、米戸別所得補償モデル事業により1億650万円が新

減反政策と戸別所得補償は

たに入ってくることとなります。国の農政が不透明ななかで、転作に力を入れてきた農家の方たちへの支援も含め、農業関係機関と連携しながら地域農業活性化センターを中心に取り組んでいきます。なお、とも補償制度については22年度も継続していく考えです。

※ 戸別に米の作付面積から10aを引いた後の10a当りについて1万5000円が支給される。



抜根し整備された畑



荒廃した桑園